

# 新しい浜ちりめん「長濱KNIT」

## 地場産業の撚糸を用いた絹の新しいテキスタイルの提案

- 浜ちりめんに用いる八丁撚糸からニットを編成
- これまでにない肌触りと審美性のニットが完成
- 撚糸・編成条件のデータを収集して生産者に提供

### 研究目的・内容

滋賀県北部の長浜地域で古くから製造される和装用絹織物「浜ちりめん」は、高いしぼ(生地表面の凹凸)と光沢を有しますが、自家撚糸のため同じ種類のものであっても機屋によって異なるしぼが見られます。当センターでは、この「浜ちりめん」に用いる撚糸の新たな用途として、ニットの開発を行いました。

八丁撚糸は硬く屈曲しにくい生糸にさらに強い撚りを入れていることから、ニットを編成するのに最適な糸の太さや形状、給糸条件について検討を行いました。開発したニット「長濱KNIT」は編成後の生地で精練・染色をするのが特徴で、八丁撚糸由来の独特の肌触りと審美性を有しています。

### 将来への技術展開

現在様々な八丁撚糸を作成し、技術的に編成可能でかつ審美性の高いニットを編成することのできる撚糸・編成条件に関するデータを収集しています。将来的にはニット用の撚糸・編成条件を合わせて、アパレルメーカーやニットターに提供することで長浜絹織物産地の多産地化を目指しています。



長濱KNIT、展示の写真



表面の様子